

大野木グラウンドワークだより

平成 20 年 8 月 28 日 発行 NO 23 発行責任者 藤田 博、伊藤 晋

8 月 24 日（日）昨日の雨もすっかり上がり朝から太陽光線のきつい一日が始まりました。

参加者は大人 20 人とこども 5 人の 25 人

お盆の休みもあり、少し間が開きましたので一面にはボウボウの草が生えてターザンロープ、ブランコの下もすごいことになっています。

そこでまずは草刈から作業がはじまりました。

そして、先日カーマーで購入した SPF 材を観察デッキ下まで運び「てすり」の取り付け、階段工の検討を行い、作業開始です。

久し振りにデッキに上がり落ち枝などの掃除をしていますと、頭の上でミンミンゼミが猛烈に鳴き出し、夏の終わりをまだまだ これでもかと次々に大合唱になっていきます。蝉にとって今年の夏はどうだったのでしょうか。

今日はお楽しみのバーベキューです。女性陣は朝からがんばって準備をしてくれています。手すりと階段の完成にはまだちょっと時間が必要です。本日の作業は後始末も含めて 12 時には終了。

次はお楽しみのバーベキューです。まずは、シャケのチャンチャン焼き シャケ 3 匹、キャベツ、モヤシ、ピーマン、人参、塩、みそ、バターで、ビールで乾杯、お酒、焼酎とそれから焼肉 豚、鳥、ホルモンと、どんどん焼けてきます 女性陣が皿にとってすすめてくれますが、こんなに多くてはとても食べきれません。

今回もガスケツトさんからビール、ハムの差し入れをいただきました。ありがとうございました。

それで、最後にバーベキュー炉の耐火レンガが一個はまらず少しの間パズルを楽しみました。あっち、こっちへ場所を変えてもはまりません。一つ、二つ、三つとはずしてもダメ。ついには下の段も変えて 10 人があーやこーやと「きりこみ」を変えたり

パズルって楽しいですね、焼酎の効能もあって、笑顔があって、その解はもう一つでしたが・・・

諸報告

7月25日

日本グラウンドワーク協会から「JGA 通信」メールが発信されました。
案内は

- 1 助成金・コンクールなどの公募情報
- 2 活動の現場から「情報ひろば」
- 3 グラウンドワークのネットワーク
- 4 JGA からのお知らせ

という構成になっており、月二回の情報提供をいただいているものです。

毎回チェックをして何か大野木にとって魅力あるものはないかとサーチしていますが、今回はびっくり 2 活動の現場から の二つ目に「大野木グラウンドワークだより 22号」が紹介されました。いよいよ「だより」が写真も入れて全 7 ページ全国版に登場することになりました。

ダウンロードは

<http://www.groundwork.or.jp/data-f/document/oonogi.pdf> からどうぞ

(財)日本グラウンドワーク協会 企画部の [Email:gw-kikaku@groundwork.or.jp](mailto:gw-kikaku@groundwork.or.jp) です。

8月7日レイカディア大学でお話をさせていただく機会を得ました。これは滋賀県レイカディア大学 米原校 (県立文化産業交流会館 学生 29 期 80 名、30 期 80 名の合同 160 名) 必修講座 人間理解・生きがいの分野 (講演 90 分) で昨年からの要請を受けていたもので、何をどのように楽しくお伝えできるか緊張しながらも何とか時間だけはお話申し上げました。

私が付けましたタイトルは「里山から 21 世紀が見えてくる」ということで、大野木のまちづくり、その中で「大野木グラウンドワーク協会のこれまで」の概要、立ち上げ、ワークショップ、基本としていること、構想、グリーンツーリズム体系、時代トレンド、アンチエイジング、やりたいこと、価値観とテーマ、中高年生きがいのづくり、課題解決プロジェクトとその手法、子育て支援、60 年間の時代ファクターと変化の証人 (コンドラチェフ波動)、今 時代変革の大舞台にあり中高年者こそ出番ですと熱く呼びかけたつもりです。

質問も入れて 2 時間という制約でお話は 1 時間 40 分くらいでしたが、なかなかいかにもかももれのないようにとはいきません。若干の質問に答える形で説明いたしました。次いで 5、6 人の方から食堂で個別の質問を受ける形になりました。

また、講演の最後に9月28日、10月19日に10人くらい先着で着替えをもって参加してもらってOKですと申しあげましたら、早速帰り際に木之本の三家さんから「うっこけいのたまご」4個パックをいただき「9月28日に行きますからよろしく」と先約いただきました。

そして、8月9日（土）携帯に2回着信あるも存じない方、ひよっとするとレイカディア大学の方かもと同番にコールしますと愛荘町の一岡四郎さんが「奥さんとふたりで10月19日伺いたい」とのこと。もちろん歓迎しますとお伝えしました。

たまたまのご縁で他の地域で頑張っておられる方々と交流できることは大いに意義があるものと考えます。このこと紙面を通じてご報告し、ご了承賜りたいと存じます。

なお、何か機関紙みたいなものの発行はされていないかという質問があり「だより」を出していますと応えると「一部送ってほしい」との依頼がありましたが、残数なくインターネットでダウンロードして下さいと申しあげておきました。

今のところ9月28日にレイカディア大学のかた1名が参加されます。一緒に作業に参加いただき昼食を共にいたしたいと思っています。よろしく願いいたします。

また、10月6日にはレイカディア大学の中西さんが米原小学校同級会一同20人で現地見学して食事をしたいとお申し出がありました。弁当持参でお越しいただくとのこと。ご案内と説明くらいはと思っています。

時の話題

カリブの風・ジャマイカのボルトは地元では「稲妻」だそうです。2008北京五輪：陸上男子100m 9秒69という世界新記録。

23歳の青年フェルプスは史上最多の1大会8冠を達成。すばらしい運動能力です。

いわずもがな勝負は一人の勝者とその他大勢の敗者から成り立っている、それぞれに当人はもとより家族をはじめ多くの関係者の間にはドラマがあつて・・・

そんななかで北島康介はすごいですね

宮崎 駿 監督による「崖の上のポニョ」はグシャグシャのまま21世紀がやってきたが子供たちが約束を守ることをテーマにしているそうです。それが5歳の子供に分かる話になっている。

監督曰くCG（電気）を使わず17万枚全て手書きという、実に70人のスタッフが一年半かかって書いたものだそうです。ですから人間が書いた微妙なずれ、ゆれが躍動感になっているのだそうです。

やはり手作りが「ほんもの」だということです

雑感

ガソリンの高騰、小麦の値上げでバタバタしています。化石燃料が終息時代への突入すること、世界の人口爆発・食糧問題の不確実性等々には早くから警鐘が鳴らされており今更慌てることはないのです。

しかし、現実問題になりますといろんな局面に出会い大いなる悩みと影響を受けることになります。

考えてみますとこの60年くらいの中に産業界はもちろん人口の増減、生活文化の全ての面にわたって大きくグラフが揺れた時代でもありましたので今60代以上の方々にとっては実に面白い人生であったのかと存じます。

世界中が日本と同じ水準で生活すると、地球2.4個分の資源が必要になるという。

どうなるトウモロコシ、エタノールへの動き・豚肉、卵・・・小麦はシカゴ相場次第
今後の注目は、打つべき手はあるのか。

身近な「地産地消」としての大野木の農業は、担い手は・・・確かな方向へ

そのためには「丸ごと」での議論「営農組合」の実行力への期待は大きなものがあります。

ほんとに暑い夏でしたね。草刈はせなあかん、剪定もせなあかん、総出も暑かったし、盆道づくりも、しかし台風は来ません。地球温暖化の危機という言葉が現実味を帯びて「こんなに毎年暑かったんかいな」と年はいっても感ずる次第であります。

でもでも、8月15日夜 雨がさあーと来て、明けて16日朝には一目30匹のトンボの乱舞を見ることに。

一夜にして秋が来たのです。生物反応はすばらしい、夜雨で温度が下がり大峰山からトンボの群団が降りてきたのです。

まだまだ、残暑は9月も続きませうが夜毎に季節が移っていくのでしょうか。

蝸は猛烈に鳴き叫んでいます、暑かった夏が過ぎ秋の気配が漂ってきました。

夜には秋の虫の音が聞こえるようになりました。

まだ出来ていない夏休みの宿題ってありましたかな。

気候変動問題は世界的に気温が上がっているだけでなく、干ばつによる水不足で民族間の争いまで起きています。

食糧需要、工業用水と水は農業と工業で取り合いとなっている。地球は青く水の惑星といわれるが、そのほとんどは海水で淡水は2.5%に過ぎない。

東大の沖教授の試算では、いま水を安定的に得るのが困難な人たちは世界で約25億人という。それが今世紀半ばには約40億人に増えるそうです。

地球環境問題の解決には国よりも地域、地方の役割が大きいと指摘する学者もいます。

2010年に名古屋で開かれる国連の生物多様性条約第10回締結国会議で「里山」を発信しようという機運が高まっています。

人間と自然が互いに物質循環を繰り返しながらできあがってきた身近な環境「里山」こそ本当の豊かさを実感できる場として認知し始めた証左ではないだろうか。

大きな地球という器の中で「政所夢塾公園」から大野木の水の将来を考えてみたいと思います。そうすると、深谷の溜め池の大切な意味、水神さんの水路、その他自然水の保全等いまからでも取り組めるものがあるのでは、ともあれ今、里山再生を目指している大野木グラウンドワークは世界の、地球のローカルな大事な大事業といえます。

今回は9月28日です

竹の切り旬にはいりますので竹きりと間伐の準備をいたしたいと思います。

それまでに湖北振興局 森林整備課の指導を受けたいと思っています。

木の本からのお客さんと

地域創造会議のメンバー10人と事務局の市役所職員数名の方々がフィールドワークの視察を兼ねて作業に参加、昼食もともにしていただけるようであります。

大野木グラウンドワークの取り組みを是非学びたいとの意向ではありますが、私どもとしては参加いただく委員の皆様と種々の意見交換、他での様々な取り組み状況も伺いながら交流の良机といたしたく存じております。

このことについてよろしくご理解、ご協力のほどお願いいたします。

今回は観察デッキの「てすりと階段工」、炭窯の修復、竹きり開始と作業メニューも多くて忙しくなりますが、気候も良くなり、応援の方にもお願いしてがんばりたいと思います。

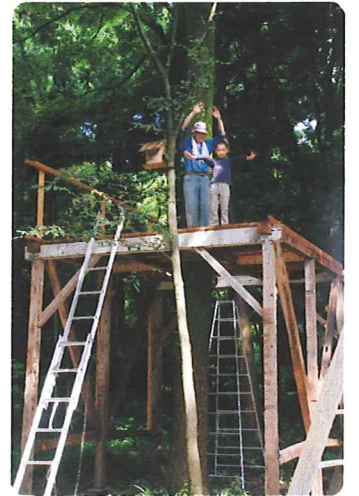
なお、それまでに階段工の刻みなど若干の段取りもやりたく思っておりましてお声をかけますので都合のつく方よろしくお願いいたします。



暑かった今夏も盆を過ぎると涼しさを取り戻し、この森もアブラゼミやミンミンゼミからツクツクホウシの合唱に変わる。小鳥達も子育てが終わり親子連れでさえずりが一層賑やかに。季節は確実にめぐりキバナコスモスも咲き始めました。



今日の作業はデッキの手すり作り。



高い所からの眺めは如何ですか？
そうですか、丸ですか。



作業の後は恒例の合費制納涼バーベキューで親睦、夏の暑い一日を森林浴を楽しみながらの野外パーティで食も弾みました。



飲み・喰・そしてお喋りで次回の作業のアイデアが湧いてくる



夏バテの回復、美容と健康に鮭のチャンチャン焼き・焼肉・ホルモン焼きに舌鼓。

次回は九月二十八日です。よろしく



藤田さんの孫、遠ちゃん、栞ちゃん、水野さんの孫、杏香ちゃん、弘聖くん、手づくりのプランコに満足のご様子。



今冬植菌し椎茸ホダ木にも順調に菌が回り今後収穫が楽しみだ